

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> ■	<b>評価対象</b> ■	<b>新規</b> □	<b>完了事業</b> □	<b>ゼロ予算事業</b> □	<b>担当者</b>	加藤広明
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3134
<b>事務事業名</b>	12440 移住交流・結婚支援事業						
<b>所 属</b>	050200 総務部・政策推進課						
<b>施 策</b>	17024300 地域資源をいかした移住定住の促進						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	020114 総務費・総務管理費・地域振興費					
	<b>事業</b>	020000 移住交流・結婚支援事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
人口増加プロジェクトを推進するため、移住人口の増加を図る。 結婚数増を図り、人口を増加させる。				県内外の移住定住希望者の様々なニーズに応えられるよう、相談体制・情報発信・受け入れ体制を充実させ、更なる移住定住者が増える町を目指します。 結婚希望者が気軽に参加できる交流イベントなどの機会を提供し、結婚数増～人口増へつなげていく。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
移住支援サイト等による情報発信、コロナ禍でオンラインによる移住相談会の開催やYouTube動画の配信通じ須坂市の知名度向上を図った。空き家バンクの充実や移住者協力求人企業の確保、地域おこし協力隊の活用を通じ積極的に移住者を受け入れた。	県内外の移住定住希望者の様々なニーズに応えられるよう、コロナ禍における相談体制・情報発信・受け入れ体制を充実させ、更なる移住定住者の増加を図る。 「結婚支援事業」の委託等により、地域活性化を図る。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
県内外の移住定住希望者の様々なニーズに応えられるよう、相談体制・情報発信・受け入れ体制を充実させ、更なる移住定住者の増加を図る。 「結婚支援事業」の委託等により、地域活性化を図る。	県内外の移住定住希望者の様々なニーズに応えられるよう、相談体制・情報発信・受け入れ体制を充実させ、更なる移住定住者の増加を図る。 「結婚支援事業」の委託等により、地域活性化を図る。
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
県内外の移住定住希望者の様々なニーズに応えられるよう、相談体制・情報発信・受け入れ体制を充実させ、更なる移住定住者の増加を図る。 「結婚支援事業」の委託等により、地域活性化を図る。	県内外の移住定住希望者の様々なニーズに応えられるよう、相談体制・情報発信・受け入れ体制を充実させ、更なる移住定住者の増加を図る。 「結婚支援事業」の委託等により、地域活性化を図る。

指標名	動画による移住情報コンテンツ登録数					
算式	登録数の累計				単位	組
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	40	80	120	160	200
	実績					
指標選定の理由	ユーチューブに移住支援動画を年間40本登録する。 40本×5年間＝5年間で200本の登録を目指す。					
最終年度目標の根拠	指標設定の数値をキープすることで着実に移住者希望者を増やしていく					
指標名	オンライン相談会の相談件数					
算式	相談件数の累計				単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	50	100	150	200	250
	実績					
指標選定の理由	対面だけでなくオンラインを積極的に活用し移住者の増加につなげる					
最終年度目標の根拠	指標設定の数値をキープすることで着実に移住者希望者を増やしていく					
指標名	交流イベントなどでのカップル成立数の累計（組）					
算式	交流イベントなどでのカップル成立数				単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	24	24	24	24	24
	実績					
指標選定の理由	交流イベントなどにおいて、毎年24件程度（5年累計120件）のカップル成立を目指す					
最終年度目標の根拠	交流イベントなどにおいて、毎年24件程度（5年累計120件）のカップル成立を目指す					

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決算	令和3年度 予算
事業費		19,756	48,197
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	2,250
	地方債	0	0
	その他	30	450
一般財源		19,726	45,497
人員数(人)	正規職員	0.8	0.9
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,574.4	6,271.2
	嘱託職員	944.7	944.7
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,519.1	7,215.9
市民一人当たりの経費		0.5	1.1
総額		26,275.1	55,412.9

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	567	消耗品216、燃料費30、光熱水費283、その他38
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,623	地域おこし協力隊活動負担金等2,623
その他	16,566	地域おこし協力隊報酬等16,566

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	50	移住交流事業等謝礼50
10節 需用費	964	消耗品250、燃料代100、印刷製本費150、光熱水費264、修繕料200
12節 委託費	3,490	ふるさと信州須坂のつどい運営委託990 結婚支援事業委託料2,500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	8,465	地域おこし協力隊活動負担金等3,758 結婚支援事業負担金等4,707
その他	35,228	地域おこし協力隊報酬等35,228

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	第六次総合計画にある「活力にみちた共創のまちづくり」を実現するため、移住定住の促進及び若者の結婚支援は必要性の高い事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	県内外の移住定住希望者の様々なニーズに応えられるよう、数値目標を立て、相談体制・情報発信・受入体制の充実を図っていく。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	オンラインやSNS、動画を積極的に活用することで、コストをかけずに成果を上げながら、かつ移住者を増やす取組を進めていく。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍において対面による相談や移住体験ツアーが制限される中で、オンラインやSNSを積極的に活用し、どこまで移住希望者のニーズに答えていけるかが、今年度の取組の課題である。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

コロナの影響もあり、移住希望者が増える中、須坂市を移住先として選んでいただくことは、産業振興、観光振興、空き家対策など、活力ある地域づくりに大変重要である。また、丁寧な対応は、須坂市のブランド力向上にも資する。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

人口増課題に対応するため、大変重要な事業である。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--